令和7年度 第1回 沖縄県がん診療連携協議会議事要旨

時 令和7年5月9日(金) 14:00~17:30 管理・研修棟4階大会議室 場 所 構成員 36名(出席者28名) (出席者) 1号委員(琉大病院長) 鈴木 幹男 2号委員(県立中部病院長) 天願 俊穂 田仲 斉 3号委員(県立八重山病院長) 諸喜田 林 (北部地区医師会病院長) 4号委員(沖縄県医師会長) 田名 毅(代理出席:玉城 研太朗) 5号委員(沖縄県歯科医師会長) 米須 敦子 6号委員(沖縄県薬剤師会長) 前濱 朋子 9 号委員(沖縄県保健医療介護部長) 糸数 公(代理出席:宮城 清美) 10号委員(琉大がんセンター長) 増田 昌人 11号委員(琉大がんセンター運営委員会委員長) 高槻 光寿 中村 克徳 13号委員(琉大薬剤部長) 真栄城 智子 1 4 号委員(琉大看護部長) 15号委員(琉大事務部長) 市川 修 神里 敬子 16号委員(県立中部病院副院長) 宮里 浩 (那覇市立病院副院長) (那覇市立病院がん看護専門看護師) 東恩納 貴子 西原 政好 17号委員(県立宮古病院外科部長) 山本 孝夫 (県立八重山病院医療部長兼外科部長) (県立八重山病院副院長) 砂川 綾子 (北部地区医師会病院副院長) 柴山 順子 (北部地区医師会病院看護部長) 上地 佳代 18号委員 又吉 賢弘 島袋 希美 (若年性がん患者会 Be style) 19号委員(一般社団法人グループ・ネクサス理事長) 天野 慎介 (国際医療福祉大学大学院教授) 埴岡 健一 松永 勝利 (琉球新報社北部支社支社長) 20号委員(琉大病院病理部長) 和田 直樹 戸板 孝文 (県立中部病院放射線治療科部長) (欠席者) 2号委員(那覇市立病院長) 外間 浩 3号委員(県立宮古病院長) 川満 博昭 7号委員(沖縄県看護協会長) 平良 孝美 12号委員(琉大医療福祉支援センター長) 平田 哲生 16号委員(県立中部病院血液腫瘍内科部長) 朝倉 義崇 17号委員(県立宮古病院副院長) 下地 千里 18号委員 (NPO 乳がん患者の会 ぴんく・ぱんさぁ代表) 与儀 淑恵 (やいまゆんたく会(八重山のがん患者を支援する会)会長) 田盛 亜紀子 (陪席者) 医療部会 伊江 将史 緩和ケア・在宅医療部会 笹良 剛史 小児・AYA部会 浜田 聡 離島へき地部会 赤松 道成 友利 晃子 情報提供 • 相談支援部会 鶴田 真也、北國 大樹 厚生労働省がん・疾病対策課 北海道がんセンター 平賀 博明、桝野 裕也 沖縄県健康長寿課 上原 健司、山里 紘美

(以下、傍聴申込) ダイコー沖縄 他

特別講演

厚生労働省健康・生活衛生局がん・疾病対策課長の鶴田真也先生による「今後のがん診療提供体制のあり方について」の講演が行われた。

鈴木議長から新委員について紹介があり、各新委員から挨拶があった。

<u>資料確認等</u>

- 1. 令和7年度第1回沖縄県がん診療連携協議会幹事会議事要旨(4月7日開催)
- 2. 令和6年度第4回沖縄県がん診療連携協議会議事要旨(2月7日開催)
- 3. 令和6年度第4回沖縄県がん診療連携協議会議事録(2月7日開催)
- 4. 協議会・幹事会・部会委員について
- 5. 令和7年度の協議会・幹事会の開催の日時について 増田委員から資料及び議事要旨等について確認があった。

有識者報告事項

1. 埴岡委員報告

埴岡委員から資料6に基づき、沖縄県におけるがん診療病院の再構築に関する考察ついて報告があった。

2. 天野委員報告

天野委員から資料7に基づき、高額療養費制度における負担上限額引き上げについて報告があった。

審議事項

1. 「第4次沖縄県がん対策推進計画(当協議会版)」の進捗状況について(ベンチマーク部会)

増田委員から資料9に基づき、第4次沖縄県がん対策推進計画(協議会版)について報告があった。

2. 北部・宮古・八重山医療圏におけるがん種ごとの診療目標について(離島・へき地部会) 赤松部会長から資料 10 に基づき、北部医療圏、宮古医療圏、八重山医療圏における分野別 のがん医療の短期目標(案)について説明があった。

玉城先生よりコンサルトできるシステムを構築するのは大切だが、そのための予算を確保することが遠隔地医療には重要であるとの意見があった。

天野委員より乳がんについて、外科医については記載があるが、薬物療法についてはどういった体制になっているかとの質問があった。赤松部会長より、「北部は乳腺を続けている医師がおり、その医師が化学療法も行っている。宮古、八重山についても非常勤の医師がおり、その方にアドバイスをもらいながら化学療法を行っている。」との回答があった。

3. 「がん診療を行う医療施設一覧」掲載要件見直しについて(医療部会、ベンチマーク部会) 伊江部会長及び増田委員から資料 11 に基づき、「がん診療を行う医療施設一覧」掲載要件見 直しについて説明があった。

資料11-2について、審議の結果、原案のとおり承認された。

資料 11-3 について、天野委員より、厚労省の文言にならい、6(1)に「心理的な障壁を取り除くことができるよう留意すること」を追記していただきたい、また、5 に「遺伝カウンセ

リングを行う体制を有すること。それが難しい場合は、他の遺伝カウンセリングを有する医療 機関と連携する体制を整えること。」の文言を追記していただきたいとの意見があった。

増田委員より、患者さんの不利益にならないような文言を検討して追記したいとの回答があった。

資料 11-5 について、松永委員より、胃がんの外科的治療は 12 例以上ということだが、ハイボリュームセンターの件数は、30 例以上(※P568 参照)となっていることについて指摘があったため、件数について、ワーキングの方で再検討することとなった。

資料 11-8 について、戸板委員より日本放射線腫瘍学会認定施設 C とあるが、A と B も条件を満たしているので、C の文言は記載なしで良いのではとの意見があり、そのように修正することとなった。

資料 11-4~11-9 について、部会で再度検討し、次回の協議会で提案することとした。

4. 各市町村に対する「若年がん患者等支援事業」への参加の働きかけについて(小児・AYA 部会、離島・へき地部会)

浜田部会長から資料 12 に基づき、「がん診療を行う医療施設一覧」掲載要件見直しについて 説明があった。玉城先生よりメディアをいれて発信した方が良いのではとの意見があり、発信 方法について検討することとした。

報告事項

1. 前年度協議会の審議事項のその後について

増田委員から資料13に基づき、本協議会の前年度審議事項のその後について報告があった。

2. 患者会よりの報告

(1) 田盛委員報告

田盛委員が欠席のため書面報告となった。

(2) 与儀委員報告

与儀委員が欠席のため書面報告となった。

(3) 島袋委員報告

島袋委員から資料14-3に基づき、若年性がん患者会 Be style の活動について報告があった。

(4) 又吉委員報告

又吉委員から資料14-4に基づき、がん対策のハイリスクアプローチの必要性について説明があった。

3. 各拠点病院が取り組もうとしているがん対策について

資料15に基づき、増田委員、柴山委員、神里委員、宮里委員、西原委員、砂川委員から各拠点病院が取り組んでいるがん対策について報告があった。

(以下については、紙面報告となった)

- 4. 大腸がん死激減プロジェクト連絡会議について
- 5. 沖縄県地域統括相談支援センターの活動報告について
- 6. 厚生労働省におけるがん関連審議会及び各種会議
 - (1) 第31回厚生科学審議会がん登録部会
 - (2) 第25回がん診療連携拠点病院等の指定に関する検討会
 - (3) 第17回がん診療提供体制のあり方に関する検討会

部会報告事項

1. 医療部会

- 2. 緩和ケア・在宅医療部会
- 3. 小児・AYA部会 4. 離島・へき地部会
- 5. 情報提供・相談支援部会
- 6. ベンチマーク部会

以上